

**近畿地方交通審議会  
近畿船員部会議事録**

**第202回**

**令和7年7月24日**

日 時 令和7年7月24日（木） 16時30分から

場 所 近畿運輸局 会議室（船員部会室）

出席者 公益委員 横見委員、定岡委員、三輪委員、  
安達委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、小林委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員（欠）

運 輸 局 寺地海事振興部長、三浦海事振興部次長、  
大樽船員労政課長、矢野船員労政課専門官、  
濱田船員労働環境・海技資格課長

議題1. 管内の雇用等の状況について

議題2. その他

## 議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第202回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第201回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思っております。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

次に、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

大樽船員労政課長：

それでは「令和7年6月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

### 1. 職業紹介状況

#### ①求人関係

新規求人数は、73人（前月比－14人、16.1％の減、前年同月比：＋14人、23.7％の増）となっています。

月間有効求人数は、207人（前月比＋22人、11.9％の増、前年同月比：＋36人、21.1％の増）となっています。

#### ②求職関係

新規求職者数は、9人（前月比－2人、18.2％の減、前年同月比：－2人、18.2％の減）となっています。

月間有効求職者数は32人（前月比－8人、20％の減、前年同月比＋1人、3.2％の増）となっています。

### ③成立状況

当月の成立数は、3人（前月比：-2人、40%の減、前年同月比：-3人、50%の減）となっています。

### ④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員3人、機関部職員0人、甲板部部員0人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

## 2. 新規求人・求職者の取扱実績

### ①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員66人（甲板部34人、機関部32人、無線部0人、事務部0人）、部員7人（甲板部6人、機関部0人、無線部0人、事務部1人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員2人（甲板部0人、機関部2人、無線部0人、事務部0人）、部員7人（甲板部4人、機関部1人、無線部0人、事務部2人）となっています。

### ②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が0人、定年退職0人、雇用期間満了1人、本人の申し出2人、自己の健康0人、倒産2人、就労中0人、不明4人となっています。

### ③新規求職者の年齢別

30歳未満1人、30歳代4人、40歳代3人、50歳代0人、60歳以上1人となっています。50歳以上は1人で占める割合は11.1%、30歳未満の占める割合は11.1%です。

## 3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は18人で、基本手当の支払実人数は0人、給付件数は0件となっています。給付金額は0円です。前月は3人、給付件数は5件、給付金額は290,463円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件、0円、再就職手当が2件、841,582円、就業促進定着手当が0件、0円、その他より移転費が1件、

175,079円。よって、当月支給額計は、1,016,661円となります。

#### 4. 月間有効求人倍率の推移

6月の近畿船員は6.47倍で、前月比+1.84ポイント、前年同月比、+0.95ポイントとなっています。

#### 5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は207人で、このうち、新規求人者数は73人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は2人、他局成立は0名でございました。求人の取り消しは78人で、理由の内訳は有効期限切れ70人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ2人、その他は6人となっています。

②月間有効求職者は32人で、前月との差は-8人でした。

当局の紹介による求職側の成立は1人、他局成立は1人でした。求職の取り消しは12人で、理由の内訳は期限切れ8人、自己応募・縁故により採用0人、自己都合により取り下げ4人、その他0人となっています。

#### 6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①5月の全国の月間有効求人数は、3,058人で、前月比17人減の99.4%、前年同月比20人増の100.7%となっています。

②5月の全国の月間有効求職数は、681人で、前月比5人減の99.3%、前年同月比増減なしとなっています。

③5月の全国の成立数は、32人で、前月比12人減の72.7%、前年同月比4人減の88.9%となっています。

④ 5月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により4.87倍となっています。全国陸上は季節調整値により1.24倍となっています。以上が管内の雇用等の状況でございます。

前回の近畿船員部会資料2の月間求人求職状況にありました総トン数3600トンのタンカーの求人が32件、船長3人、機関長3人といった人数の求人が1隻に対して出されたものかという質問が佐藤委員からございました。担当者に確認したところ、1隻に対してではなく、3600トンのタンカーを数隻持っており、それに対する求人ではございました。

佐藤委員：

求人的人数に上限を定めていないのですか。一隻しかない会社が複数人の求人を出した場合でも受付するのでしょうか。

矢野船員労政課専門官：

通常は窓口で受付する際に事業者に取り取りを行い、問題があるようでしたら修正を依頼します。

佐藤委員：

可能性があるとすれば派遣業を持っていて、必要以上に確保するというケースが考えられるので、ご注意ください。

横見部会長：

ありがとうございます。

ほかに資料1、2、3についてご質問等ございますでしょうか。

三輪委員：

資料の1の3ページ目、就職促進給付のその他の件数として、移転費が1件とありますが、詳細を教えてください。

大樽船員労政課長：

待機期間の経過した雇用保険の受給者で、ハローワークの紹介によって成立し、その職業に就くために転居しないといけない場合で、ハローワークが必要と認めた場合に給付されます。元の住所からの通勤が往復4時間以上かかる場合や、交通機関の始発・終発便が悪いなどの場合に認められるようです。金額は、鉄道の距離や親族が随伴するかによって決まります。

横見部会長：

普通は事業者から移転費を出さないのでしょうか。

大樽船員労政課長：

出さないことは滅多にないかと思います。

横見部会長：

はい、ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

土屋委員：

資料1の2ページ目、新規求職者の退職理由内訳に倒産で2人とありますが、詳しい事情はわかりますか。中小事業者で人を雇わずに廃業というのはたまにみるのですが、雇用状況を見る上で、注視するべきかと思います。

磯合委員：

後継者がいない、船員が集まらないので廃業したというと事情はよく聞きます。あとは資金繰り悪化などで廃業することは考えられますがあまり聞いていません。

大樽船員労政課長：

調べまして詳細がわかるようでしたら報告いたします。

横見部会長：

はい、ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

無いようですので、それでは、次に議題2の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

三浦海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、令和7年5月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比 98%となっております。

貨物船は 鉄鋼、燃料（石炭、コークス）、セメントが減少  
原料（石灰石・スラグ）、紙・パルプ、雑貨、自動車は増加  
油送船は 黒油、白油、ケミカル、耐腐食が減少  
高圧液化、高温液体は増加のようです。

5月の貨物船の輸送量は、前年同月比101%、前月比で97%となっております。

鉄鋼は 98%、輸送障害に関して時化の影響が長引かず短期間で済んだため、前月並みの輸送量で推移したが、前年同月と比べれば減少となったようです。

原料は 101%、石灰石、スラグは増加が見られたため、全体を押し上げた一方で、前月増加した金属鉱は減少しているようです。

燃料は 97%、石炭は石炭専用船の入渠船があり減少し、コークスは増加、燃料全体としては前年と比べて低調な送り込みとなったようです。

紙・パルプは 115%、紙製品に関して、四国の製紙会社からの出荷が無くなったことにより、他の製紙会社からの輸送で増加の見られた船社があった。さらに、マシントラブルや品質不良により、イレギュラーな輸送が発生した。パルプ、木材も増加で推移したようです。

雑貨は 105%、一部で備蓄米のスポット輸送が見られたほか、九州からの農産品の輸送が堅調に推移した一方で、前月から続いている港湾ストの

影響で日曜に荷役ができなかったことや自動車部品並びに工業品の輸送が振るわなかったこともあり、全体としては微減となったようです。

自動車は 109%、前年同月が認証不正問題による影響で減少していたため、その反動増が見られている。港湾ストは配船のやり繰りにより影響を回避することができたようです。

セメントは 90%、セメント専用船の減船や入渠船が見られ、前年同月比減少で推移しているようです。

続きまして、油送船の輸送量ですが、前年同月比 95%で、前月比 95%となっています。

黒油（こくゆ）は 93%、電力需要が引続き低調となっているのと、一部で製油所の定期修理の影響も見られたようです。

白油（はくゆ）は 95%、出荷はやや低調となっているほか、今月も引き続き、一部で船のトラブルによる長期停船もあり減少が見られているようです。

それでは 5 ページ以降、貨物ごとの状況です。5 月の対前年比欄と、右側の対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼の前年比は、 98.4%で、 前月比 99.2%

原料の前年比は、 101.3%で、 前月比 98.6%

燃料の前年比は、 97.0%で、 前月比 105.0%

紙・パルプの前年比は、 114.9%で、 前月比 94.2%

雑貨の前年比は、 104.5%で、 前月比 96.1%

自動車の前年比は、 108.6%で、 前月比 96.0%

セメントの前年比は、 89.7%で、 前月比 91.8%

貨物船全体の輸送量は、1,539万トンで

前年比が、100.9%で、 前月比 97.3%となっています。

黒油（こくゆ）の前年比は、 92.9%で、 前月比 93.0%

白油（はくゆ）の前年比は、 94.6%で、 前月比 99.8%

ケミカルの前年比は、 97.9%で、 前月比 77.3%

一般タンカーの輸送量は、687万7千トンで  
前年比が、94.5%、前月比95.8%となっています。

続きまして、

高圧液化の前年比は、105.9%で、前月比83.6%

高温液体の前年比は、118.5%で、前月比121.5%

耐腐食の前年比は、92.3%で、前月比84.3%

特タン船の輸送量は、90万2千トンで

前年比が、101.5%で、前月比86.7%となっており、

全てのタンカーの合計は、777万9千トンで

前年比が、95.2%で、前月比94.7%となっています。

次に資料5、令和7年5月における長距離フェリーの輸送実績でございます。

5月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずは「トラック」ですが、

北海道方面では、11,097台となっており、前月比が102.7%、  
前年比107.9%

北九州方面では、28,361台となっており、前月比が89.6%、  
前年比87.6%

中九州方面では、11,050台となっており、前月比が92.1%、  
前年比107.3%

南九州方面では、13,235台となっており、前月比が99.3%、  
前年比100.0%

次のページの「旅客」では、

北海道方面では、

14,250人となっており、前月比が141.9%、前年比106.8%

北九州方面では、

80,402人となっており、前月比が103.3%、前年比 96.2%  
中九州方面では、  
40,078人となっており、前月比が104.9%、前年比111.5%  
南九州方面では、  
30,684人となっており、前月比が110.7%、前年比107.8%  
となっています。

最後に、次のページの「乗用車」では、  
北海道方面では、  
5,691台となっており、前月比が129.7%、前年比106.5%  
北九州方面では、  
25,899台となっており、前月比が 96.9%、前年比 97.4%  
中九州方面では、  
6,344台となっており、前月比が108.6%、前年比108.1%  
南九州方面では、  
8,415台となっており、前月比が102.4%、前年比 96.5%  
となっています。

平均の令和7年欄は、令和3年からの5年平均になりますが、トラックの北九州航路の輸送実績で若干少ないものの、その他の航路、並びに旅客・乗用車の輸送実績では平均以上となっているようです。

・海技人材の確保のあり方に関する検討会とりまとめについて（報告）

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、これまでの説明についてご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは次に事務局より報告事項がありますので、よろしくお願いたします。

寺地海事振興部長：

最低賃金の諮問について報告させていただきます。近畿運輸局長が決定をいたします、船員の最低賃金（内航鋼船・木船運航業、海上旅客運送業、沖合底引き網漁業）につきましては、組織船のベースアップや消費者物価指数の上昇を勘案し、昨年を引き続きまして、3業種すべてにつきまして、諮問をする方向で調整しております。

スケジュールにつきましては、他の運輸局の審議・決定状況も踏まえご審議いただくため、昨年同様12月の船員部会で各業種ごとの答申案をご決定頂きたいと思っておりますので委員の皆様何卒よろしくお願いいたします。

以上でございます。

横見部会長：

ただ今の説明についてご質問等ございますか。

横見部会長：

それでは次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につきまして、ご意見や情報などございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

横見部会長：

では続いて、使用者委員のほうから何かございますでしょうか。

横見部会長：

では続いて、公益委員のほうから何かございますでしょうか。

横見部会長：

事務局のほうからはいかがでしょうか。

大樽船員労政課長：

佐藤委員から要望がありました、保安対策協議会を対面で開催することについて、舞鶴港を管轄する舞鶴港湾事務所、和歌山下津港、日高港、新宮港を管轄する和歌山港湾事務所、大阪港、堺泉北港、阪南港を管轄する大阪港湾空港事務所の担当者に要望を伝えました。開催について現時点で対面開催の実施が決まっているところはございませんでした。

また、夜間や荷役をしないときにソーラスゲートが閉じられていて船員が外に出られないことや、急病人が出たときに緊急車両が中に入れれないといった問題があることも併せてお伝えしております。

佐藤委員：

事務局が地方整備局となるのですか。

大樽船員労政課長：

そうです。

佐藤委員：

原則1回の開催が定められている中で、コロナ以降書面開催となって、今は情報伝達訓練にとどまっている。大阪は去年開催したが、今年度はどのような状況でしょうか。

大樽船員労政課長：

今年度はまだ決まっていない、今のところ開催予定はないとのこと。

佐藤委員：

どのようにアクションを起こしていけば開催されるのか教えてください。

大樽船員労政課長：

開催の判断は整備局にあるので、ソーラスゲートの件も港湾管理者になるかと思います。

佐藤委員：

整備局に直接の要望を言うべきということでしょうか。

大樽船員労政課長：

我々からは開催するかどうかは見えないところがありますのでご理解ください。

佐藤委員：

以前、仮バースの話をしたのですが、その後の進捗は何かありますでしょうか。

三浦海事振興部次長：

仮バースをできる場所の情報共有ができればと考えています。土日とか夜間の予約となると先方の勤務体制がある中での対応になるかと思いますが、話す機会がないので、基本的には進んでおらず申し訳ございません。

佐藤委員：

賛否あるとおもいますが、タンカーでしたら製油所の中でのバースで荷役待機中、着岸して休憩といったことも検討されているという話を以前聞いたことありますが、それも前に進んでいないということでしょうか。

セキュリティの問題や、何かあったときの責任の所在とか難しいところはあるのですが、岸壁があるのにつけれない、沖で浮いていなければいけない、しんどい環境によって内航船員が離れていくとなると残念な話なので、解決に向けて動いてもらいたい。これは現場の船員全員の思いです。

横見部会長：

それでは他になにかございますでしょうか。

三輪委員：

7月15日の海の日、内航船の日に関連して開催された近畿管内のイベントがあれば教えてください。

寺地海事振興部長：

海の日に関連して、昨日7月23日に当局の取り組みとして海運・港湾・造船など海事関係の功労があった方への表彰式典をプリムローズ大阪で行いました。7月・8月を通して「海の月間」としており、実行委員ごとに各地でさまざまなイベントが行われております。大阪市のフェリー体験乗船や岸和田市の保安部巡視船の体験乗船など自治体主催のイベントや、海岸清掃といった美化活動などを含めると数多く行われておりますので、詳細はホームページ等でご確認頂けたらと思います。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は8月21日（木）16時00分からとなっておりますので、皆様よろしく願いいたします。

(配付資料)

資料1. 令和7年6月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2. 令和7年6月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3. 令和7年5月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4. 内航輸送実績状況（令和7年5月分まで）

資料5. 長距離フェリー輸送実績の推移（令和7年5月まで）

資料6. 海技人材の確保のあり方に関する検討会とりまとめ